

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 ADDS Kids1st 鎌倉

公表日 2026年3月24日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・こどもの数に対する大人の数だけでなく、質の担保のために、固定の個別支援ケースを持たずスーパーバイズをできる人員も配置している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・その利用者に合わせて机や物の配置を変更している	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・毎回掃除や消毒を行なっている。さらに配置している物品のメンテナンス、足りないものや劣化してきているものがないかをより定期的に確認し調整していけたらと思う	・施設の清掃のため、外部人材に一部作業を委託しているが十分ではなく、現場スタッフが持ち回りで時間をかけて清掃している。施設が広いので、清掃コストに補助があると良いのと思うことがある。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		・それぞれが個々に話している内容をその都度共有しやすく、見返しやすい仕組みを作りたい
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・出勤メンバー全員参加で毎日30分のミーティング実施している	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	・同法人が運営する児童発達支援センターでは第三者評価を受けており、その内容を参考にすることはある。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・内部の講習だけでなく、外部の研修にも積極的に参加している ・毎日昼休憩の前にスタッフ全員がケースについて相談したり、スキルアップのためのミニ研修を企画したりしている。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・他の人にも相談しながら、課題を構成している	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・親子向け発達支援プログラムを担当できる全てのスタッフが、新版K式発達検査やVineland-2適応行動尺度などの標準化された検査を実施できるようにしている。	・アセスメントのやり方を定期的に確認できる場を作ったり、分析の仕方を学べる場があると、よりアセスメントの精度が上がると感じる
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・年2回の事業所スタッフ全員参加の研修において、意思決定支援を体験するワークを実施している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・各種検査や、ストラテジーシート等活用している	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・「移行支援」「地域支援・地域連携」をより具体的にを行うため、地域支援担当職員を選任し、推進する仕組みに変更した。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・担当者間で課題更新等について取り組みの様子を含め相談しています	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	90%	10%	・課題更新を定期的に行えるよう保護者の方々へ呼びかけをしています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・保護者の意向も勘案しつつ、小集団を実施している	

の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	70%	30%	<ul style="list-style-type: none"> ・都度、各課題で必要に応じてメンバーと擦り合わせや意見交換を実施している ・必ず打ち合わせはないが、必要に応じて適宜話し合いは行われていると思います。 ・出勤時間の異なる職員にも周知できるようツールを用いて共有しています ・その日の支援前に必ず打ち合わせは行われてはいませんが、事前に解決して支援に入れているとは思いますが、 ・複数で担当する場合には共有・検討を行い支援に入っています。 ・マンツーマンの個別支援が多いので、毎回必ず打ち合わせをするわけではない。ケースミーティングや書面などで情報共有は丁寧に行ない、スタッフが課題を抱え込んだり孤立したりしないように工夫はしている。 	
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	60%	40%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日実施しているミーティングで必要に応じて事例検討を実施している ・担当職員同士の振り返り以外に、日々のケースミーティングやAI-PAC、連絡ツールなどの入力共有も含め、行っています。 ・必ずではありませんが、ケースミーティングの時間に気になることは共有、相談しやすいですし、ケース後にこちらから相談させてもらっています。 ・ケースミーティングは、時短のスタッフも必ず参加できるよう、夕方ではなく昼休憩前に設定している。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	90%	10%	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム構成システムを開発し、その中で毎回の支援の記録をつけ、結果に基づいて先輩セラピストやスーパーバイザーに相談する機会がある。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援の実施を含め、状況に応じて他事業所や幼稚園、保育園を、情報交換を実施している ・保育所等訪問支援事業を始めたことで、保育園や学校との連携が以前よりとれるようになった。 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	90%	10%		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	50%	50%	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の連絡会等の場を通じて、センターであるあおぞら園と情報共有の機会がある。 ・一度訪問させていただき、情報交換をしたが、児童発達支援センターのスーパーバイズは受けたことがない。 	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	60%	40%	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練等と一緒に実施している ・避難訓練で一緒にしているくらいかと思えます ・地域でインクルーシブなイベントを主催し、利用者にも参加の案内をし、数名が参加してくれた。 		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・「べあすく」という親子向け発達支援プログラムを基本としているため、保護者も一緒にこどもの発達を見守り、課題に取り組んでいる。 		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点で踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	30%	70%	<ul style="list-style-type: none"> ・「先輩ママ」など卒業生の保護者の体験などの話を聞く機会など講演会を実施している ・保護者対象の講演会等を実施し、来場した保護者同士の交流の機会にもなっているようです ・先輩パパママ交流会を実施している。 	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	90%	10%		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブの観点も含めたイベントを開催している ・事業所自体に呼び込むわけではないが、地域のイベントでブース出展をしたり、イベントを主催して様々な人に参加してもらったりしている。 	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	60%	40%	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所によるおやつ提供なし ・該当するお子さんがいないと思っています ・食事提供がありません ・情報はもっているが、おやつや給食を食べるプログラムがない。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	90%	10%	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練に参加できない時間帯の利用者向けの教材を使った防災訓練を実施し保護者の方へお伝えしている ・災害時の対応など。 	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの記載、連絡ツールでの共有、確認した人のリアクションボタンなど。 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう仕組みにはなっているが、身体拘束をせずに済むような工夫を徹底し、児童発達支援計画に記載して行う身体拘束の事例は、当事業所では無いように思う。 	